

TTC 提案山行実施記録表

2014.6.17 佐藤 未治

山行名	天子山塊・毛無山 [1946m 静岡県・山梨県]				
実施日	2014年6月15日(日)		日帰り	マイクロバス利用	
天候/参加人員	天候:晴 レベル:★★★		参加者:17名(男9名/女8名)		
パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真: ドライバー: スタッフ名削除				
sutaffu	A班:(班長)、 B班:(班長)、 参加者名削除 C班:(班長)、				
費用 <u>¥3,700-</u>	[内訳] マイクロバスレンタル料¥29,268、高速代(厚木—小田原 720円、大井松田—新富士 2200円、新富士—厚木 2930円) ¥5,850、燃料代[145×(260+50)/5] ¥8,990、ドライブ—謝礼 ¥18,000、交通費合計 ¥62,108				
カンパ金 ¥792	集金(3700円×17名) ¥62,900 残額¥792をTTCカンパ金とする。				
所要時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間比(実行/計画) :0.934 歩行時間比(実行/ガイドブック):1.049 行動時間比(実行/計画) :0.979
	ガイドブック	6:05	—	—	
	計画	6:50	1:15	8:05	
	実行	6:23	1:32	7:55	
実行コースタイム記録					
小田厚道路		東名高速		15	26
本厚木=小田原東 IC==大井松田 IC==足柄 SA==新富士 IC==毛無山登山口P—分岐—不動の滝見晴台					
6:15	8:10	8:27-44	9:10	9:50-10:10	10:25 10:51-11:02
42	45	40	10	60	135 10
—4合目上レスキューポイント—7合目上草地—稜線—毛無山山頂—地蔵峠—分岐—登山口P==					
11:44-58	12:43-13:25	14:05-10	14:20-35	15:35-40	17:55 18:05-15
==新富士 IC==駿河湾沼津 SA==厚木 IC==本厚木					
19:00	19:10-35	20:35			
コースの概要、特記事項、反省事項等					
[コースの概要]					
東名高速の車両火災事故により厚木—大井松田間が通行止めとなったため、迂回路として小田原厚木道路を使用した。その為、登山口には計画より1時間20分遅れの9時50分に到着。駐車場はほぼ満杯で他の登山客はすでに出発した後であった。					
しかし、これが幸いしたのか、後から追い越していくわずらわしい特急組は少なかった。					
山頂手前の尾根道である9合目まではひたすら急登である。スタートが遅れたため山頂での昼食まではとても待つそうにない。やむを得ず休憩出来そうな広場を探していると、7合目の少し上に絶好の休憩ポイントを見つけた。さっそく遅めのお昼休憩をとる。梅雨の合間にもかかわらず、湿度が低くカラリとしており、時折吹く涼風が心地よい。					
上りの休憩ポイントは不動の滝見晴台、4合目上のレスキューポイント、それと我々がお昼休憩を取った7合目上の広い草地である。					
毛無山山頂は遅く着いたお陰でTTCの17名で独占出来た。山頂からは頭に綿帽子をかぶった富士山と朝霧高原がきれいに見晴らせる。パラグライダーが青空を飛び交うさまは爽快である。					
本山行の最大の山場は地蔵峠から麓までの下りである。ロープのかかった岩場や渡渉が次々と現れる。難所にかかる都度、17名の通過には時間がかかるため、計画書通りのコースタイムを刻むのは不可能である。					
しかし、各班の班長には屈強の男性メンバを配したお陰で、女性メンバのサポートは万全であったと思う。かなり苦労した山行であったが、スリルを体験したあとの安堵感と達成感で皆の表情は明るかった。					
下山時間が遅かったため、楽しみだった入浴を省略せざるを得なかったのは残念である。					
[反省点・特記事項]					
1. 山行レベルは★★☆としたが、岩場のロープや渡渉を考慮し★★★が妥当であった。					
2. 参加人数の多い山行では、難所の通過に予想外の時間がかかることを銘記すべきである。					
3. 山行中のワンポイントレッスンで「ストックの使い方」、「コンパスの使い方」を勉強した。					
机上の研修より現場でのOJTは非常に有効であり、参加者の評判も良かった。 以上					